

教育委員提案議題

「教育DXについて」

本日のテーマ



杉並区の現状を把握し、教育DXの必要性・可能性について理解を深める

次第



- 導入（10分）
- 質疑応答（20分）

文部科学省が推進する「教育DX」とは



定義：文部科学省は教育DXを「**教育分野におけるデジタル技術を活用した構造的変革**」と位置付けている。(https://bizroad-svc.com/blog/kyouiku-dx/)

<ICT教育との違い>

	ICT教育	教育DX
目的	授業や学習をデジタル機器でサポート	教育の仕組みそのものを変革
手段	電子黒板、タブレット、デジタル教材	AI、ビッグデータ分析、オンラインプラットフォーム
範囲	授業内での活用が中心	学習・校務・評価・保護者連携まで広範囲

なぜ必要なの？



＜教育委員会側＞

1. 事務作業が多いから
2. 早く正確に判断するため
3. 政策をよくするため

＜学校側＞

1. 先生の仕事が減らすため
2. 子どもに合った学びをするため
3. 未来に必要な力を育てるため

どんなことができる？



＜教育委員会側＞

- ・学校からの報告やデータをオンラインで管理
- ・教育データを分析して、支援や政策に活用
- ・教員の配置や研修をデータに基づいて計画
- ・地域間の教育格差を減らすための支援

＜学校側＞

- ・タブレットや電子黒板を使った授業
- ・宿題やテストの自動採点
- ・一人ひとりに合った学びの提供
- ・教員の業務の効率化

杉並区の基盤状況（2025.9～）



<環境>

校務系と教務系のネットワーク統合及びフルクラウド化

<機器等>

・教職員端末（約3,000台）、児童生徒用タブレット端末（約30,000台）、複合機（約200台）、液晶型電子黒板（約1,200台）

<利用システム等>

メール（個人ごと割り当て）、MicroSoft（Office365、Teamsなど）、Share Point Online（共有の記憶領域）、校務支援システム、サービス管理・旅費管理システム、保護者連絡システム、学習系アプリ（ロイロノート、ミライシード）

参考（学校ICT係の取り組み共有）



- 杉並区教職員ICT活用力調査結果
（目的）再構築前の杉並区におけるICT活用力の現状
- 校長・副校長向け研修
「校務DXについて～区PC入れ替えに伴う校務改善」
対話：“あたりまえ”を変える管理職の意識改革
（目的）管理職の意識の醸成

最後に（学校ICT係の今後の行動計画）



- 杉並区教職員ICT活用力調査
（目的）再構築前後の比較、分析結果を基にした行動計画を検討
- 次年度研修企画の策定
（目的）あらゆるコンテンツを検討し、個別最適な研修の実現
- ポータルサイトの構築
（目的）より円滑なコミュニケーションの実現

質疑応答

